

1 学校教育目標

人権尊重の精神を基調とし、主体的に学び、広い視野と深い知識を身に付け、思いやりの心と郷土愛により社会に貢献し、規範意識をもち、心身ともに健康で、たくましく生き抜く、次代を担う生徒の育成を目指す。
教育指針 「学ぶ 鍛える 思いやる」

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	生徒の学ぶ意欲の伸長、学力の向上、社会性の育成を図ることができる学校 地域・保護者に信頼され、力を合わせて生徒を育成する学校 組織で課題解決にあたる学校
○児童・生徒像	向上心をもって粘り強く努力し続ける生徒 他を思いやる豊かな心をもつ生徒 「あじみこし」が身に付いた社会性のある生徒
○教師像	生徒の個性を理解し、よさを伸ばそうと創意・工夫する教師 謙虚に自己研鑽に励み、指導力を発揮する教師 組織の一員として教育活動に取り組む教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

1 学校の現状

- (1) 全校で放課後補充教室に取り組み、リトルティーチャーやAIドリルも活用し、基礎学力の定着に努めている。
- (2) 自校作成の家庭学習ノートを活用して家庭学習に取り組む習慣を身に付けることができた。
- (3) 学校行事や生徒会活動・委員会活動等には積極的に取り組み、達成感も高い。
- (4) 地域行事をとおして、地域の町会や自治会・小学校・高校との連携が定着している。

2 前年度の成果

- (1) 全校体制での放課後補充教室の実施により、基礎学力の定着につながった。リトルティーチャーやAIドリルを活用した。
- (2) 家庭学習ノートの継続によって、家庭学習の習慣がある程度定着した。
- (3) 小学校の職員入れ替わりが多数あったが、小中連携の中で関係が構築できた。
- (4) 2町会・2自治会のお祭りやチャイルドタウンフェスティバル、子どものハッピーイベント等にボランティア生徒を募り、少数ではあったが、関わることができた。地域の方よりあいさつを褒めていただいた。

3 前年度の課題

- (1) 授業で振り返りを行うことは定着しているが、振り返りの内容項目や効果について課題が残る。
- (2) 家庭学習ノートについては、授業との関連づけを意識し、基礎学力の定着と筆記による出力の確認として活用していく。
- (3) 放課後補充教室については、リトルティーチャー制を更に発展させ、学び合いの時間を増やし、人に教えることで自己有用感や学力の定着を強固なものとする。学び合いのルールについても校内で統一し、全学年のものとする。
- (4) キャリア教育の目的意識を明確にし、生徒一人ひとりの夢や理想をはっきりさせる手助けを行い、夢や理想につながる目標をもって学習に取り組ませる。苦手でも目標のためにやりきる楽しさや充実感や達成感を得られることを体験させる。ストレスからの退避やメンタルトレーニングの方法について、スクールカウンセラーや養護教諭とともに指導していく。

- (5) あいさつは地域の方からよい評価をいただいた。わきまえた礼儀作法等をさらに指導する。
 (6) 地域や家庭、関係教育機関との円滑な連携により、健全育成をさらに推進する。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R: 令和				
		R5	R6	R7	R8	R9
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	小中連携を中心とした地域に根ざした教育活動の実践	◎	◎	◎	◎	◎
3	生徒による主体的な活動の推進・キャリア教育の促進	○	○	○	○	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－ 1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
全教科において足立スタンダードに基づいた活用型授業を展開することで、主体的に学び、深く考え、表現することができる。		R7区学力調査達成率 65% 到達度確認テスト(1月) 正答率 65%						○	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクション プラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (＝数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	授業改善	全教科	年間	①管理職による授業観察 ②小中連携による教科ごとの研究授業 1回 ③江北ブロック合同研修会 1回 ④区中研教科部会への参加 ⑤学力定着推進員と管理職による授業観察 国語、数学、英語科教員・教科指導専門員による指導	①自己申告面談にて授業の講評を行う ②教科ごとに成果発表 ③自教科の授業を参観し、協議会に参加する ④教科部会で得た情報を基に授業の改善を行う ⑤授業観察後の協議会 専門員との振り返り	①全教員年2回 ②全教員年1回 ③全教員参加 ④全教科部会参加 ⑤対象教員年1回 教科ごとに決められた回数			

継続	朝読書	全生徒 国語	毎日 朝 10 分	国語科及び担任 ・毎朝 10 分間読書に取り組ませる。 ・語彙を増やすための読書記録	読書冊数	1 人 10 冊以上 語彙力を高める			
継続	放課後 補充教室	全生徒 英・数中心 に 5 教科	毎日 放課後 25 分	全教員 ・リトルティーチャー制の導入 ・AI ドリルの活用	到達度確認 テスト(1 月)	正答率 65%			
継続	スモール ステップ テスト	全生徒	年間 単元終了 時	5 教科担当 家庭学習とも関連付け 復習プリント等を与え テストに取り組ませる。	スモールステ ップテスト	単元終了時に 5 教科で実施			
継続	コンテスト	全生徒	年 3 回	全教員 ・国語 7 月 英語 12 月 数学 2 月	ブレテストを 実施してから コンテスト	合格点 80 点とし 合格率 80%以上			
継続	家庭学習	全生徒	毎日 強化週間 定期考査 前 4 回	家庭学習ノートを自校作成 担任が毎日点検 1, 2, 3 年 2 ページ	提出状況 ノートの内容	提出状況 100%			
継続・新規	I C T の 活用	全教員 全生徒	年間随時	大型モニター・Chromebook 等を活用した授業を実施する。 AI ドリルの活用	全教科 随時活用	I C T 使用率 100%			

重点的な取組事項－２ 小中連携を中心とした地域に根ざした教育活動の実践					
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
小中連携事業とともに、地域行事に積極的に参加し、郷土愛の心を育成する。		小中連携事業をとおして、円滑な接続を図る。 地域行事への参加率を高める。			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
地域への貢献	「地域の行事に参加している」60%	・ボランティア活動等への参加（消防隊、地域行事、地域清掃、吹奏楽演奏会等） ・生徒会を中心にボランティアを募り、地域清掃を行う。			
交流活動の充実	児童・生徒交流5回以上 新入生2学級確保	・部活動体験（小6） ・運動会への小学生参加（小6） ・合唱コン練習小学生見学会（小6） ・合同百人一首大会（小5・中1） ・サマースクール アシスタントティーチャー			
授業以外の学力向上 対策	漢検の合同実施 百人一首合同練習会実施	・漢字検定への小学生参加 ・百人一首合同練習会			

重点的な取組事項－３		生徒による主体的な活動の推進・キャリア教育の促進			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
生徒が自分たちで学校を良くしようとする意識（愛校心）と自己肯定感をはぐくむ。キャリア教育に関わる取組をとおして、将来や今の自己の生き方について考え・表現できる生徒を育成する。		「学校に行くのが楽しい」 75% 「大人になったときの夢や目標がある」 70%			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自尊感情を育む実践	・「自分にはよいところがある」 65% ・「あじみこしを意識して生活している」 80% ・各種表彰並びに掲示	・生徒会が主催の「あじみこし」キャンペーンの実施 ・大会等上位入賞者の表彰や掲示			
意志決定能力・キャリアプラン能力の伸長	・職場訪問 1 年、職場体験 2 年の実施 ・夢デザインシートの活用 ・「自分の好きな仕事につけるよう、勉強したい」 80%	・職場訪問 1 年 職場体験 2 年 2 日間 ・夢デザインシート記入 ・外部人材の活用 上級生から下級生へ 中学生から小学生へ			
コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の伸長	・「グループ活動やペア活動で話し合ったり、発表したりすることは好きだ」 70%	・全教科で言語活動を取り入れた工夫した授業の実施 ・プレゼンテーションソフトを活用した発表の充実 ・生徒会朝礼の充実			
生徒会、委員会活動の活性化	・「行事・部活動に積極的に取り組んだ」 85%	・生徒実行委員会を中心とした行事の運営や生徒会、委員会の主体的な活動の推進			
6 まとめ					
(１) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性					
(２) 保護者や地域へのメッセージ					
(３) その他（学校教育活動全般について）					